

図書だより 5月

令和5年5月2日
開南幼稚園 永森 加奈

たくさんの好奇心を

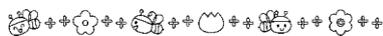
彩鮮やかに花が咲き、気持ちの良い季節になりました。新入園の子どもたちも、園の生活に慣れてきたようで「あのね……」とたくさん話しかけてくれます。子どもたちの間では、外遊びがとても盛んです。草花の周りにいる虫や幼虫を見つけ、早速図書室に調べに来る子がいました。目にしたものを何だろう？とすぐに調べる、これが学びの第一歩。この繰り返しで、子ども自身の興味が膨らみます。経験したことに関連した絵本や図鑑を提供し、子どもたちの好奇心を育んでいきたいと思っています。



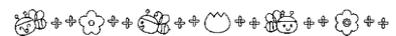
第65回 こどもの読書週間 4/23(日)~5/12(金)

「いっしょによもう、いっぱいよもう」

“子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所を”との願いから「こどもの読書週間」が誕生しました。小さい時から本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。子どもを取り巻く環境はめまぐるしく変化していますが、長い年月読み継がれてきたすぐれた本を、子どもたちに伝えていきたいと思っています。当園では幼児期に読んでほしい絵本を必読図書とし、年齢や季節に応じてクラスで読んでいます。保護者貸出しもしています。裏面にリストを載せましたので、ご家庭でも親子で読んで、楽しい時間を過ごしましょう。



大豆生田先生のお話



大豆生田啓友先生(玉川大学教授)の講演会を聴きました。幼稚園教諭の経験があり、3人の子どものお父さんでもある先生の体験談を交えたお話は、共感するところがたくさんありました。心に残った言葉を紹介します。

- *完璧な親なんていない (カナダのスローガン)
- *ほどほどな親でいい (イギリスの精神医学者 ウィコット)
 - ・子どもにとって、そんなに無理をしなくても大丈夫
- *自立とは依存先を増やすこと(東大小児医学 熊谷晋一郎)
 - ・自立とはちゃんと人の力を借りられること
 - ・その人らしい自立でよい
 - ・多くの人の手で、みんなで子育てできる社会を

5月 貸出し

貸出	2 (火)	12 (金)	19 (金)	25 (木)
返却	8 (月)	15 (月)	22 (月)	29 (月)

*年少・ひよこは5/12から実施
「新年度のしおり」

P6「図書室からのお知らせ」に
注意事項など書いてありますので、
必ずお読みください。



返却を忘れると次回の貸出しはできません。
お子様への声掛けをお願いします。

絵本 リサイクルバザー

日時 22(月)・23(火)・24(水)・25(木)
月・火・木 (12:45~13:15)
水 (11:45~12:15)

お子さんのお迎えの前にご利用ください。
場所 図書室
価格 1冊……10円(ソフトカバー)
100円(ハードカバー)

- * 絵本を入れる袋をご持参ください。
- * ご家庭で不要の絵本を寄付してください。
- * 5月19日(金)までに、名前と冊数を書いたメモを添えて担任へ渡してください。

「非認知能力を育てる」子育てで大切なこと

- ① 親子のスキンシップや甘えなどを通して心の安全基地を作る。
- ② その子らしさや主体性(自己決定)を大切にする。
- ③ 子どものがんばっている姿をほめ、小さな成功体験を大切にするなど、自己調整力を育てる。
- ④ 多様なあそび体験を通して、好奇心を持ったたり、夢中になる経験をしたりする。
- ⑤ えほんの読み聞かせを通して、コミュニケーションや言葉への興味を大切にする。

『非認知能力を育てるあそびのレシピ』より

大豆生田啓友 大豆生田千夏 著